

チャレンジ！！オープンガバナンス 2018 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
		朝夷奈切通しを題材とした、歴史的背景を持つ 歩行空間の総合的な魅力向上について	横浜市金沢区 (鎌倉市連携)
アイデア名(注2) (公開)	朝夷奈切通からはじまる歴史資料のオープンデータ化プロジェクト		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2018 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報

チーム名(公開)	金沢研究会		
チーム属性(公開)	<input type="radio"/> 1. 市民によるチーム <input type="radio"/> 2. 学生によるチーム <input checked="" type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム		
メンバー数(公開)	10名		
代表者情報		今井美結	
メンバー情報	氏名(公開)	小谷野友梨香、高尾淳己、高山日伽里、デビス美也那、西谷彩、鈴木伸治、杉浦裕樹、甲斐幸次郎、伊藤宗太	

(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2018_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2018 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin_padit_cog2018@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、課題解決のために、何をやる社会的なサービス（活動）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したり、活用したくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなワクワク感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題>

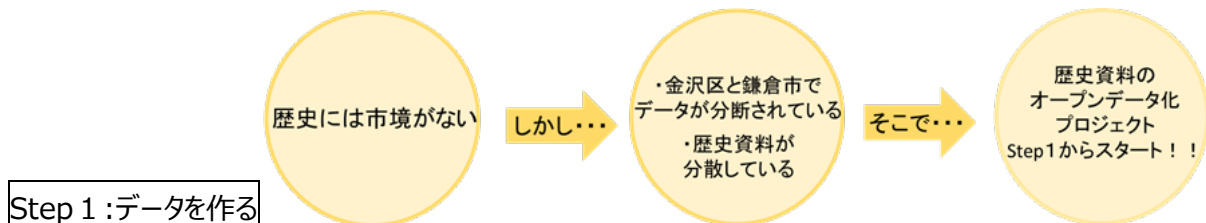
- ・金沢区には歴史資産が豊富にあるにも関わらず、市民がまちの歴史を知るきっかけが少ない
- ・歴史資産に関するデータがウェブ上にない又は点在している

<解決アイデアの内容> **歴史データで「住み続けたいまち、金沢区」へ！**

私たちは、①点在しているデータを集約し気軽に活用できる状態にすること、②市民が歴史を通じてまちの魅力を知るきっかけを作ることを目指します！また、金沢区は横浜市の中でも特に人口減少が進むと考えられます。この取り組みによって、区民が地域に愛着をもち、「住み続けたいまち、金沢区」を実現します！！

朝夷奈切通とは…

鎌倉幕府が鎌倉と六浦（現横浜市金沢区）を結ぶ重要交通路として、山稜部を開削して建設した道路です。当時は、港であった六浦から鎌倉に塩を運ぶ道として栄えていたため、「塩の道」とも呼ばれていました。朝夷奈切通は歴史的な観点から見ても金沢と鎌倉を結ぶ重要な遺跡と言えます。



Step 1 : データを作る

■ 歴史データフォーマットの作成

フォーマットによって情報を統一され使いやすいデータに！

揃える内容

①写真	④遺産・文化財の所在地
②解説	⑤時代
③解説の出典	
⑥以上がCSV形式にまとめられている	

活動Episode

歴史を解説するWebを作る際、メンバーで分担して各寺社の解説を作った。いざ一つにまとめようとしたら内容に一貫性がなく、各寺社の特徴が分かりづらくなった。

Step2: データベースサイトを作る

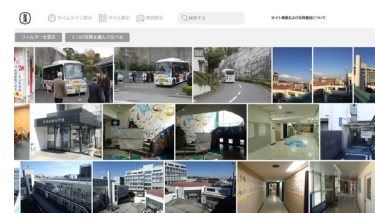
なぜ？ →簡単に歴史データにたどり着ける環境を実現するため

どうやって？ →金澤写真アルバムのアップデート

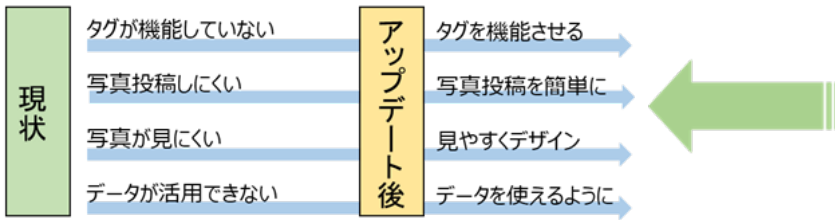
■ 金澤写真アルバムとは

※金澤写真アルバムとは：金沢区によるオープンデータ事業の1つ。

区が持つ写真や市民が提供した写真をCCライセンスとして提供するサイト。



↑金澤写真アルバムのトップページ

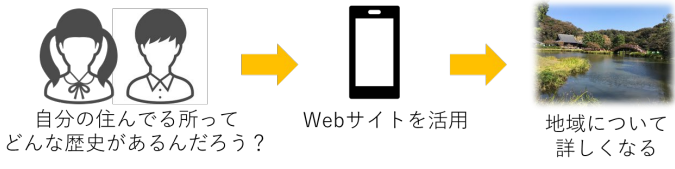


活動Episode
 Webサイトを作る時、データ・写真のリソースを探した。金沢写真アルバムにCCライセンスの写真があり、使える！と思ったが閲覧用としての機能にとどまっていた。

Step3: 私たちの考えるデータベース活用方法

完成したデータベースって結局何に使えらるだろう？
 →情報がまとまっているからアプリや Web サイト作成に応用しやすくなる
 →それらを利用し、地域学習やまちあるきを快適に行うことができる！

【実際の活用例①】地域学習のための Web サイト

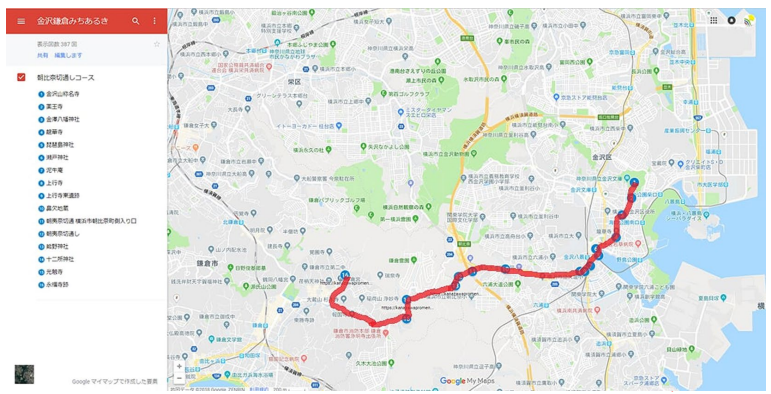


主に**地域学習を行う小学生を対象**にしたウェブサイトで、金沢区に存在する歴史資産の情報を一つのサイトで閲覧できるようにします。その際に**難易度が違う文章**や時代や人物の検索機能を作成することで幅広い年代の人に活用してもらえるようなサイトにします。



活動 Episode
 実際に**プレサイトを作成**し 12 月 15 日に「金沢鎌倉みちあるき」イベントを行った。金沢区役所・鎌倉市役所職員の方々に加え、**まちづくりの活動を行っている市民の方々にも参加**していただき、アプリや Web サイトを用いたオープンデータの活用について意見を頂いた。

【実際の活用例②】楽しく快適にまちあるきを行うためのアプリ



まちあるきの際に地域に点在する歴史資産を知り、今まで知らなかった場所へ足を運んでもらう。その中で、地域の新しい魅力を発見し、**自分の住んでいるまちをもっと知りたい、出歩きたい**と思えるようなアプリにします。

歴史資料のオープンデータ化と活用を進めることで街の歴史が住民に身近になる！！

(2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの資料や関連の計画、既存の施策などの定性データのことを総称します。データは出所を明らかにしてください。

金沢区だからこそ歴史資料のオープンデータ化を!!

歴史文化財が豊富な金沢区

	金沢区	横浜市	鎌倉市
国宝	3	3	15
国指定(登録含)	38	125	201
県指定	19	71	66
市指定(登録含)	46	246	321
天然記念物	5	20	603

「鎌倉市指定文化財件数一覧表」,

「金沢区統計要覧 2017-2018」

金沢区の主な指標文化財より作成

<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/treasury/documents/shiteichiran30.pdf>



横浜の歴史と開港の歴史が注目されることが多い。

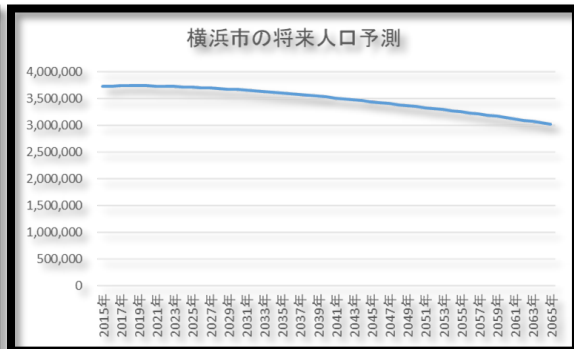
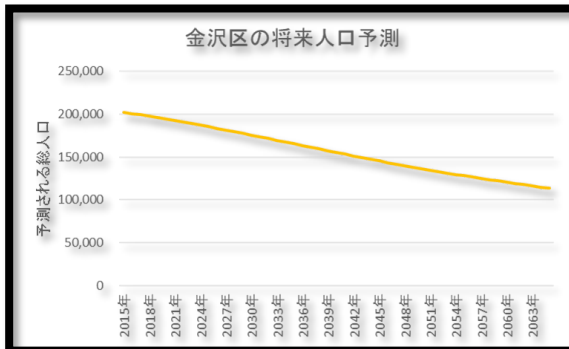
しかし金沢区は鎌倉幕府の外港としての歴史を持っており、

開港以前の歴史資産が多数残っている。

金沢区の人口、50年で半数に!?

金沢区の人口減少は著しい。将来人口予測においても 2015 年では 20 万人であった人口が 2065 年では 11 万人になると予想されている。

→ 50 年で 44% の減少（横浜市においては 19%）



「横浜市将来人口推計」より作成 <http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/jinkosuikei/>

また市内 18 区と比べても 最も減少の割合が高いと予想されている。

順位		減少の割合(%)			
1位	金沢区	44	4位	旭区	37
2位	栄区	42	5位	泉区	35
3位	港南区	40	6位	瀬谷区	31

「横浜市将来人口推計」より作成 2015 年の区別総人口と 2065 年の予測総人口より算出

(3) アイデア実現までの流れ (公開)

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。



アイデアの実現に必要な資源

【ヒト】

横浜市立大学鈴木ゼミ金沢班
金沢区役所、鎌倉市役所
地域の方々
+Webサイトデザイナー
アプリ開発者

【モノ】

広報
広報よこはま
横浜コミュニティデザイン・ラボ
ヨコハマ経済新聞
SDGs横浜金澤リビングラボ
(2018年度のイベントでも
ご協力いただきました)

【カネ】

金沢区の学生の活力の活かした
まちづくりを支援する
サポート事業補助金
「Campus Town Kanazawa」に
昨年度から採択されており
来年も応募する予定である

アイデア実現に向けての活動計画

	2018年度 後期	2019年度 前期	2020年度 後期	2021年度以降
Step 1 データ作る	金沢区が発行している 歴史資料の収集	地元企業の社誌・横浜市の広報誌・学校の記念誌や収集した写真 季節の花や祭りの写真などの収集とデータ化 フォーマット作成		
Step 2 データベース サイトを作る	金澤写真 アルバムに投稿	金澤写真アルバムに改善案の提案		
Step 3 データの活用	Webデザイナー アプリ開発者 を募るイベントを開催	仮のアプリを利用した デモンストレーション イベント開催	Webサイトの管理・改良 アプリの運用・改良	
行政との連携	「Campus Town Kanazawa」サポート 事業補助金 第2期	「Campus Town Kanazawa」サポート 事業補助金 第3期（申請予定）		
	定期的な情報交換・歴史資料の提供・データベースとして金澤写真アルバムの活用（金沢区・鎌倉市）			
他団体・市民 との連携	みちあるきWS参加 意見交換・広報	みちあるきWS参加 意見交換・広報	Webサイト・アプリユーザー として市民を募りイベント開催	
学生の動き	ゼミ活動として 3年生から2年生への プロジェクトの引継ぎ		3年生から2年生への プロジェクトの引継ぎ	

達成度バロメータープロジェクト全体から見て、今はどれくらい達成したか

